

2019 年度 都立府中東高校 BOXING部

●2019. 10. 26 栃木県白鷗大足利高校 遠征



ここ数年間、3月に遠征でお伺いしている白鷗大足利高校。今回の遠征は10月20日まで北海道で開催されていた全日本女子選手権期間中に、同校ボクシング部顧問の北村先生からお誘いをいただき、実現となりました。

当日は全員がスパーを実施。その後は何組かマスボクシングを組み、その後、全体でマスボクシングを6R行い、ミットなど合同練習で終了となりました。



山中



萩原



堀江



吉野

山中は一発の大きさが目立ち、単発だったことが課題のひとつ。これは今回のスパーでは修正できていなければならない内容です。ただポイントを取れるストレートではあります。

萩原は12月に全日本女子と同時開催された全日本社会人選手権で準優勝した、白鷗大足利の落合コーチから「バランスが良くていいサウスポーです」と褒めていただきました。バランスは良いもののリズムが単調なのは改善点の一つです。



末舛



芦川



星野



吉澤選手とマス



末舛はまだまだすべてにおいて硬さが見られます。「相手を倒す」という根本を忘れず、きれいに打つ、よりも気持ちを出して、より積極的なこと、が大事かもしれません。

芦川は落合コーチが相手をしてくれました。始まった瞬間に白鷗足利の北村先生と篠崎先生が「こいつはいいね～」と声をかけて下さいました。自分から手を出し、動くこと。またリードブロー。基本ですが、成長が見られます。落合コーチがうまく打たせてくれたものもありますが、その中でも攻防ともによかったです。

星野の相手は始めたばかりの一年生。一応全日本に出ていますので、レベルはこちらが上です。その中で何を練習できるか、が問われます。相手キャリアのない一年生。まだ手を出して前に出れば下がってしまいます。相手に、もう少し落ち着いて、これから必要なことをリング上で出せていたらもっとよかったです。

スパーの後は落合コーチにミットを受けてもらったり、全日本王者となった吉澤選手とマスをしたり、有意義な練習ができました。また伺わせていただければ、と思います。

**北村、篠崎先生、落合コーチ、白鷗足利の選手のみなさん
ありがとうございました！！**